

Game Report

開催場所：日本経済大学

試合区分：第 26 回全九州大学バスケットボールリーグ戦

試合期日：2019 年 9 月 14 日(土)

試合時間：11：40～

CC：佐田 明美

U1：紀伊 孝哉

U2：柿原 実

鹿屋体育大学	○ 67	18	—1st—	12	● 65	福岡大学
		11	—2nd—	21		
		14	—3rd—	17		
		24	—4th—	15		

第 1 クォーター

序盤、鹿体大は#23大底のレイアップシュート、福岡大は#41野口のバスケットカウントで初得点をあげる。その後はお互い固い守りで得点を与えず両チーム無得点の状態が続く。中盤、鹿体大#13白石が3Pシュートを決めると、すかさず福岡大#10賀谷が3Pシュートを決め返す。鹿体大は#24田村、#13白石が果敢な攻めで得点していく。対する福岡大は、#16川口がスティールからレイアップで得点するが、鹿体大のペースは変わらず18-12の鹿体大リードで第1ピリオドを終える。

第 2 クォーター

開始早々、福岡大#16川口がゴール下のシュートをねじ込み、流れをつかみにかかる。福岡大は#13木村の3Pシュートや#32片山のジャンプシュートで得点を重ねるが、鹿体大は#3大串のリバウンドシュートや#13白石の3Pシュートで応戦する。その後は一進一退の攻防が続き、スピード感のあるゲームが展開される。残り1:03、福岡大はタイムアウトを請求し、オールコートディフェンスでプレッシャーを強めリズムを変えようと試みる。33-29、福岡大リードで第2ピリオドを終える。

第 3 クォーター

序盤、福岡大は#16川口の2Pシュート、#41野口のフリースローなどで一気に突き放しにかかるが、鹿体大は#38國松の連続3Pシュートやバスケットカウントで離されずに我慢の時間帯が続く。福岡大は点差を離したいところだが、鹿体大は#34志鷹のフリースローで応戦する。しかし、50-44で福岡大リードのまま第3ピリオドを終える。

第 4 クォーター

開始早々、福岡大は#41野口のゴール下シュート、鹿体大は#10藤永のレイアップシュートで得点する。点差を離したい福岡大は残り7:45、タイムアウトを請求。しかし、タイムアウト明け、鹿体大は#24田村の3Pシュートで流れを渡さない。対する福岡大も#32片山のジャンプシュートや#10賀谷の3Pシュートで得点する。お互い意地を見せ、拮抗した展開が続く。残り1:34、鹿体大#24田村が3Pシュートを決め、逆転したところで、福岡大はタイムアウトを請求。福岡大はファウルゲームにいき、時間を止めたいが、鹿体大は安定してボールを運び、67-65、鹿体大が逃げ切り、九州リーグ初戦、勝利を収めた。